



犀陵だより

第 11 号 平成 24 年 2 月 22 日

有終の美のために

平成 23 年度も残す所 1 ヶ月となりました。登校日数は 20 日を切っています。今週末には 1, 2 年生は期末テストがあり、3 年生はいよいよ進学希望者全員の願書提出が終わります。“有終の美”に向けて本当に大事な時期となっています。

この大事な時期に、気をつけたいこと心がけたいことは以下のことです。

1 落ち着いて授業や学校生活に取り組む

画竜点睛という言葉があります。最後の仕上げが大事です。学習面のまとめをしっかりと行い、落ち着いた生活をし、来年度の良きスタートへのステップとしたいものです。

2 インフルエンザ、風邪等の病気にかからない

インフルエンザは全国的に大流行だということです。本校でも先週は流行の兆しを見せ、1 学級で 3 名がインフルエンザで欠席した日もありました。幸い、大きな広がりはなく、毎日のインフルエンザでの欠席数は全校で数名に収まっています。うがい・手洗い、規則正しい食事・生活、十分な睡眠を意識し感染しないように予防しましょう。特に 3 年生は要注意です。

3 怪我をしない、させない



上に挙げたインフルエンザと同様、怪我也意識することでかなり防ぐことができます。一番の予防策は 1 に挙げた落ち着いた生活を送ることだと思います。これは一人一人の意識が大事ですが、一人の力だけではうまくいきません。学校全体で落ち着いた生活を意識し、残り一月、怪我なく安全で楽しい犀陵中にしていきましょう。

校長講話より

「和」という字を使った言葉を知っていますか。聖徳太子の十七条の憲法の第 1 条の書き出しは「和をもって尊しとなす」です。その「和」が満ち溢れる国という意味で「大和」が生まれました。

6, 7 歳の小学生でも、やってはいけないこととして、悪口を言ってはいけない、すぐ叩いてはいけない、授業中邪魔をしてはいけないという「和」を意識しています。どうしたら和を保つことができるかというと、日本書紀には「和（やわ）らぎ」を大事にするようにと書いてあります。和（やわらぎ）とは、おだやか、なごやか、やわらかくしなやか、うちとけて、というような意味があります。だれでも和らぎの心を持って生きていかなければいけないと思います。

私たちはだれもみな縁があって生きています。その縁はたまたまではなく、よほどの縁があって成り立っているんだなと思います。残り一ヶ月、相手を受け入れる和らぎの心を持って一日一日を大切に生活していきましょう。

